

令和6年度通所介護事業計画

デイサービスセンター彦岳の太陽

運営方針

デイサービスセンター彦岳の太陽は、加齢に伴って生じる心身の変化による疾病等により介護を要する状態となった場合においても、利用者一人ひとりの意思および人格を尊重し、利用者の立場に立った適正なサービスを提供していきます。また、令和6年度の改定で「自立支援・重度化防止に向けた対応」があげられましたが、引き続き心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消ならびに家族の身体的、精神的負担の軽減を図り利用者の在宅生活を支援することを目指していきます。

実施目標

1. 利用者が「来てよかった」と思える、楽しく過ごせる通所介護を目指す
2. 利用者一人ひとりに合わせた目標を設定し、その実現に向けての取組を行う
3. 関係機関、事業所、家族等と密接な連携を図り、利用者と家族の在宅生活を支える
4. さまざまな状況の利用者を受け入れ、自立支援を図ることで、家族や居宅介護支援事業所の信頼を得る

利用者の処遇

1. 通所介護計画に基づくサービスの提供
ケアプランに基づいた適正な通所介護計画を作成し、利用者及び家族の意向と状況把握に努め、全ての利用者がより良い在宅生活を継続できるよう支援します。
2. 生活相談
利用者および家族の各種相談に応じ、内容に応じて担当ケアマネジャーと連絡調整を行い利用者の在宅生活を支えるとともに、家族の介護負担の軽減を図ります。
3. 食事
利用者個人の状態及び嗜好を把握し、食事内容・形態及び食事用具の検討を行います。栄養面・食事制限等に配慮しながらも、利用者が食に喜びを感じられるような食事サービスを提供します。美味しく、楽しく召し上がっていただくことを基本とし援助を行います。

4. 排泄

利用者一人ひとりの排泄リズムを把握し、適切に誘導し、不快を感じさせない介助を行います。また、個人のプライバシーにも十分配慮します。

5. 入浴

利用者個人の状態・希望に応じ、最適な入浴サービスを提供します。また、快適な入浴ができるよう環境整備に努めます。

6. レクリエーション

利用者に対し、レクリエーションを通して、心身機能の低下の防止、向上を図ります。プログラムは、ご利用者一人ひとりの個性、生活歴を尊重し、持っている能力を発揮できるよう、活動の内容を考えていきます。デイサービス内でカラオケ大会やボーリング大会を行う事で利用者の意欲を引き出します。また、散策等を実施し利用者間の交流を深めます。外部ボランティアについては、新型コロナウイルスの感染状況をみながら来ていただき、利用者の方々に楽しんでいただきます。

7. 健康管理

利用者の健康状態を観察・把握し健康管理及び健康指導に努め、異常の早期発見・早期対応に努めます。緊急時は家族及び主治医、ケアマネジャーとの連携により、迅速かつ最善の対応に努めます。また、感染症予防のための適切な対応及び対策の徹底を図ります。

8. 機能訓練

専門的な機能訓練を行います。関連施設の療法士が機能訓練連計画を作成し、運動だけでなく、利用者の意欲、楽しさを引き出す日常生活動作、アクティビティサービス（創作、行事等活動）、集団機能訓練の実施も行います。

9. 送迎

利用者個人の心身状態及び地理的状況等を考慮した送迎車両・送迎ルートを設定し、無理のない送迎サービスを提供します。また、安全第一を念頭に置いた走行、及び車両の定期的な点検・整備を行い利用者の安全確保に細心の注意を払うとともに、車両内外の清掃を徹底し、利用者が快適に乗車できるよう努めます。

10. 日課

8：30～9：30	送迎
9：30～10：30	健康チェック・作業・機能訓練
10：30～12：00	入浴または、卓上課題、カラオケ
12：00～13：00	昼食、服薬、口腔ケア
13：00～15：00	機能訓練・レクリエーション・総合事業の実施 (事業対象者)
15：00～15：30	おやつ
15：30～16：30	送迎

その他取り組み

1. 関係機関との連携

介護支援専門員、地域の関係機関との連携・協力を努めます。また、サービス提供場面で得られるご利用者やご家族の情報を居宅介護支援事業者（介護支援専門員）へ提供し、情報を共有します。

2. 職員の資質の向上

サービスの向上を図るため、定期の施設内研修を実施する。介護保険制度、福祉制度、高齢者の認知症等専門的知識を修得します。専門性の高い研修については、外部機関が実施する研修に参加します。また、毎日のミーティングと毎月の職員会議では、利用者サービスの検討、行事の内容等職員全員で検討します。

3. リスクマネジメント

職員の気づきを大切に捉え、ヒヤリ・ハット報告や事故報告の内容を共有するとともに、原因等を究明し対策を講じ事故の再発防止に努めます。

4. 家族との連携・緊急時の対応

家族との連携については、利用前の状態確認、利用中の状態観察、利用後の状態報告等をデイサービス利用連絡表や送迎時の口頭での申し送りにて行う。（但し、

利用中に利用者の病状が急変した場合、その他緊急に対応の必要が生じた場合には、嘱託医への連絡、救急搬送等の対応を行うとともに、家族および関連機関へ速やかに連絡します。）

5. 介護予防・日常生活支援総合事業への取組み

佐伯市の意向に沿って、介護予防・日常生活総合支援事業に取り組みます。又介護保険の適応外のサービスについては実費にて状況に応じて調整を行ないながらサービスの提供を行います。

6. 地域との交流

地域との交流を積極的に行うことにより（ボランティアの活用や地域行事への参加など）、地域に開かれた事業所として認知されるように共生に向けた取り組みを行う。

7. 年間イベント（行事について）

今後も、季節感を感じて頂けるようなイベント（外出・手芸・誕生日会・運動会等行事）を計画し、実施する。また定期的に地域のボランティア団体等に慰問をお願いし、利用者には楽しい時間を過ごして頂き、ボランティアにもデイサービスセンターの取り組みを知って頂く好機としたい。

8. 防災計画

防災計画により、総合訓練及び部分訓練（消火訓練、通報訓練、避難誘導訓練）を実施する。また地区消防団、自主防災会との連携を深め地域一斉避難訓練等に積極的に参加する。また、令和6年4月より感染症や災害等の発生時に、利用者に対して継続したサービスを実施できるよう計画を策定することが義務付けられたBCP（事業継続計画）に対して訓練を実施する。

9. ノーリフティングケアの取組み

「抱える介護」から「抱えない介護」を目指します。リフトやスライディングシートなどの福祉機器を適切に使うことにより質の高い介護サービスを提供するとともに、介護職員の腰痛予防や介護負担の軽減を行います。

令和6年度 行事予定表（案）

月	行 事	内 容
4月	花見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内桜開花時（中庭、駐車場）にて桜を鑑賞します
6月	百徳の日 消防避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・故小寺徳夫会長誕生日（6/29） ・消防避難訓練を行います
7月	七夕 そうめん流し	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕の短冊に願い事を書きます ・手造り竹のトイを使って流します
8月	供養盆踊り大会	<ul style="list-style-type: none"> ・狩生地区の皆様と合同で行います
9月	敬老会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、ボランティアによる催し物などで敬老をお祝いします
11月	消防避難訓練 記念行事	<ul style="list-style-type: none"> ・消防避難訓練を行います ・開設の記念行事を行います。
12月	クリスマス忘年会 餅つき	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の出し物で楽しんで頂きます ・地域のボランティアの方にお手伝い頂き、皆で餅つきをします
1月		
2月	節分	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内各ホールにて豆まきを行います。
3月	ひな祭り 消防避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・自作のひな人形をホールに飾り皆で鑑賞します ・地震（津波）を想定した訓練を行います

※ 感染症拡大防止対策時の際は変更あり